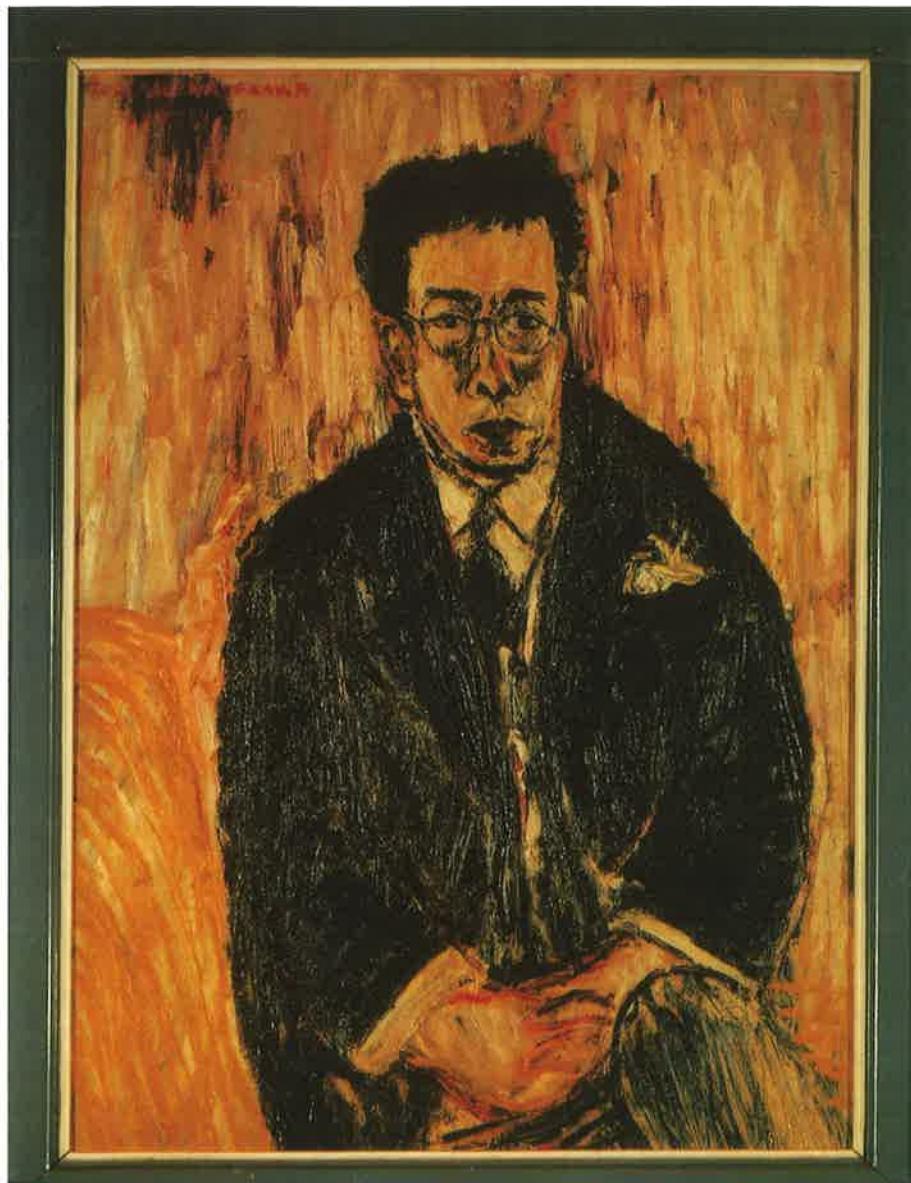




耐久高等学校同窓会報

耐久



「劇作家（岸田国士肖像）」

一九三〇年油彩・東京国立近代美術館蔵

NO. 12

— 耐久創立150周年記念展示 —
文人画家 長谷川 利行 画

1891年(明治24年)京都に生まれ、旧制耐久中学を中退。
 1921年(大正10年)に歌人の生田蝶介をたよって上京。
 東京の下町を放浪し「孤独な魂の叫び」ともいべき傑作を残し、その絵は日本の洋画界に燐然と輝いている。
 1940年(昭和15年)没。

平成十四年度卒業式

去る三月二日（月）第五十五回全日制（三一名）・第四十七回定時制（一三名）の卒業式が、昼夜にわけて執り行われた。

薮添泰弘校長は、卒業式（Commencement）コメンスメント（新たな出発）にあたり、「感謝の気持ちを忘れない」と。「先人の業績に学ぶ」と。「勇気と希望を持つ」と。以上三点について熱く語られ、若さと情熱で「天下の大道を闊歩せよ！」と最後の訓話を卒業生たちに贈られた。卒業証書授与式に臨む卒業生達の姿勢・態度も素晴らしい。のうちにも感慨深い卒業式となつた。

平成十五年度入学式

四月九日（水）平成十五年度全日制・定時制入学式が挙行され、全日制新入生二八〇名（普通科二四〇名・グローバル探求科四〇名）・定時制一六名の入学が許可された。その結果、四月九日現在、全日制全校生徒は八四七名（男子四二名・女子四三六名）・定時制生徒四九名（男子二七名・女子十二名）となつた。

薮添校長は式辞の中で、一五〇年の歴史と伝統を持つ本校の創設者濱口梧陵翁の建学の精神「学問の要は安民にあり」に触れ、それは教育基本法のいう「崇高な理想の実現」にほかならないということを新入生たちに懇切丁寧に語りかけられた。また、「誇りと自信をもつこと」「何のために学ぶのかといふ志を高く持つこと」また「姉妹校二校との国際交流の意義」などについて述べられた。

同窓会総会のご案内

9月27日（土）1時より
於 本校会議室

2年に一度の総会です。
当日は学校文化祭の一般公開日に当ります。
お誘い合わせのご来校をお待ちしております。

◆開会に先立ち、演劇部のビデオ鑑賞等も計画しております。



Dear all the students of Koga High School,

We have heard that the new type of disease SARS has been raging in your country, and that there are so many patients of SARS in the Province of Guangdong.

We are very sorry for having canceled our visit to your school in March, but also we are worrying about your school life. We would like to express our sympathy for the situation.

So we would like to give you a monetary gift, the money raised from all of us of Taikyu High School, all the teachers and students. We hope this will help you lead a safer, more peaceful life in your school.

Anyway, please take good care of yourselves.

Sincerely yours,

Takuya Uenoyama
Takuya Uenoyama
President of the Student Council
Taikyu High School

同窓会のページ <http://www.naxnet.or.jp/~taikyu/obroom/obindex.htm>

姉妹校支援へ生徒会が募金



校長に募金を託す生徒会の役員ら=県立耐久高校で

3万400円、中国・広東の中学校に

◆開会に先立ち、演劇部のビデオ鑑賞等も計画しております。

同校と広雅中は8年ぶりに、姉妹校提携を結び、耐久高の生徒が訪問するとして交流を重ねてきた。3月末には、春休みを利用して19人の生徒が訪中する予定だったが、感染症の危険があるため延期された。

広雅中では感染者は出ておらず、平常通り授業が行われているが、マスクや消毒液が足りない状況いろ、感染症を知った生徒会員らが、募金を呼びかける形で、全校生徒に募金箱を設置。約1週間で3万400円が集められた。

SARSの「負けるな

2003年(平成15年) 5月28日 水曜日 朝日新聞より

【日本語訳】

拝啓 広雅中学校の生徒のみなさまへ

新種の病気SARSが中国で猛威を振るい、あなた方の学校のある広東省でもたくさんの患者が出ていると聞いていますが、いかがお過ごしですか。

私たちの代表者が、3月にあなた方の学校を訪問し、交流を深める予定だったのに、SARSの影響で中止せざるを得なくなり、非常に残念に思っています。また、同時に、私たちはあなた方の現在の学校での生活についてとても心配しています。謹んでお見舞い申し上げます。

それで、私たちは、少しでもあなた方のお役に立てればと思い、耐久高校の全教職員・全生徒に義援金を募りました。わずかですが、ここにお送りいたします。今後、より安全で、より穏やかな学校生活を送られることをお祈りいたします。

ともかく、お体には十分お気をつけ下さい。

敬具

耐久高校生徒会長 上野山 琢也

連載 濱口梧陵(7)

垣内貞

慶応四年（一八六八）一月、鳥羽伏見の戦が起り、幕府軍は薩長軍に敗退し、京坂より紀州藩を頼つて落のびてくる。紀州藩は朝廷に恭順の姿勢をとろうとして、和歌山城下には幕府軍を一切入れず、止むなく兵は熊野街道を南下、湯浅周辺に辿りつく。街道筋の住民は戸を閉じ、おののきながら、その光景を見つめたという。これに郡代官は、どう対処してよいかわからず、梧陵と菊池海莊に一任する。

二人は郡内の大庄屋を集め、たとえ朝敵になつたとはいひ、飢や戦傷に苦しむ人達を助けるのが人の道である、と説き、宿屋や寺院に分宿させ、手厚い世話をした。敗走兵達は、ここで人心地がつき、有田を去るとき人々に手を合ふに記されている。この年、九月に明治元年と改元される。

翌年、存亡の危機に瀕し、た紀州藩の大改革が津田出（一八三二～一九〇五）によって断行される。改革のが農民や商人であった梧陵と海莊を藩の重要な役職に就ける。特に梧陵は勘定奉行という重職に抜擢される。

津田と梧陵は、武士団を解体し身分制度を打破するために、四民による徴兵制度を施き、明治新政府の初代駅頭にによる徴兵制度を施き、藩置県が実施され、藩の改革構想も終焉を迎える。

しかし、梧陵はこの年、明治新政府の初代駅頭に推される。最初の郵政大臣である。このことについて、先日の毎日新聞の『余録』というコラムに、要約すると、次のような文が載つていた。

初代駅頭浜口成則（梧陵）は「郵便は将来、民間経営にゆだねるがよい」と述べたが、浜口にかわって駅頭になつた前島密は、これを官営にした。

また梧陵は福祉にも意を用い、養老院の設置などに努力した。と、いま郵政改革、民間参入が提起されていることを思うとき、百三十年前の梧陵の先見性が偲ばれるのである。

同窓会報への協賛広告にご協力下さい。（事務局までご一報下されば幸いです。）

人材の育成



福沢諭吉

第一步は、旧来の陋習を破った人材の登用で、身分が農民や商人であった梧陵と海莊を藩の重要な役職に就ける。特に梧陵は勘定奉行という重職に抜擢される。

明治四年（一八七二）廢藩置県が実施され、藩の改革構想も終焉を迎える。

しかし、梧陵はこの年、明治新政府の初代駅頭に推される。最初の郵政大臣である。このことについて、先日の毎日新聞の『余録』というコラムに、要約すると、次のような文が載つていた。

初代駅頭浜口成則（梧陵）は「郵便は将来、民間経営にゆだねるがよい」と述べたが、浜口にかわって駅頭になつた前島密は、これを官営にした。

梧陵は再三諭吉に手紙を送り、上京して説得するも実現せず、代りに松山棟庵を推薦され着任する。この時の諭吉の手紙が浜口家に保存されており、これを読むと二人の教育に対する情熱が脈々と伝わってくる。

明治十一年（一八七八）和歌山でも五月、県議会が開設されると、推されて初代議長に梧陵が就く。

梧陵は再三諭吉に手紙を送り、上京して説得するも実現せず、代りに松山棟庵を推薦され着任する。この時の諭吉の手紙が浜口家に保存されており、これを読むと二人の教育に対する情熱が脈々と伝わってくる。

のち、初代議長として、県議会の基を築いた梧陵の遺徳をたたえ、和歌山県庁に梧陵の像が建てられる。

明治十四年には、梧陵は広村に私立「那耆病院」を設立する。

かねてより、江戸で優秀な西洋医学者と交りの深かつた梧陵は、故郷有田の人々の衛生意識の低いのを憂い、病に苦しむ人を救うことが急務と、京都で西洋医学を学んだ和歌山出身の吉村英徵（一八五二～一九一六）を病院長に招いて開業する。

同窓会報への協賛広告にご協力下さい。（事務局までご一報下されば幸いです。）

衷を述べている。

しかし、この対立も梧陵の徳と卓越した指導力で事なきを得たという。



嗣子浜口梧莊に県会の招待を伝える梧陵の手紙

その時の「病院設立の趣旨」には、「敢えて私欲の為これを行ふに非ず、広く人々の病苦を治療し、その健康を保持するためであり、支払不可能の人にも施薬施療を行う」と明記している。吉村病院長は、梧陵の願いを意に体し、日夜患者の治療に尽力するとともに、助産婦・看護婦の養成にも努め、漸やく有田地方の医療も充実してゆくのであつた。

この時、梧陵が嗣子梧莊と紀南の議員の間で利害が相反し、しばしば紛争する。

梧陵が嗣子梧莊に送った手紙に「一層白髪老疲を覚え候」と、その苦

平成十五年度進路概況について

進路指導部長 岩崎 浩久

十八歳人口は減少しているものの既卒生(浪人生)の増加や求人減少など、進学・就職ともに厳しい状況が続いている。

大学入試センター試験の現役志願者は過去最高の34.3%（本校59.4%）となつた。経済不況による根強い国公立志向と私立大・短大の参入増加等がその要因だと考えられる。英語の易化、数II B、国語が難化し、五教科六科目の総合平均点が四九五点（三點減）であつた。

進学については、国公立大は依然として人気が高く、私立大においては知名度・難易度・地理的条件等による二極化がさらに進行し、入りやすい学校と人気のある学校の格差が顕著になつた。短大・専門学校においては医療・看護系が人気が高く、特に看護系（県内）は進学校、既卒生の受験の増加で難化した。

こういった状況の中で、グローバル探究科卒1期生を含む今春の本校卒業生三二五名は、よく健闘したといえる。国公立大の合格者数は、名古屋大、東京外国语大をはじめ四九名と昨年、一昨年よりさらに増加し、全体の合格率も上がつた。今後、早い時期からの対策と自分の将来を見通した進路選択が必要になつてくると思われる。

(1) 平成15年3月卒業生進路状況

国 立	進 学			就 職			合 計								
	大 学		短 大	專 修 各 種	公 務 員	企 業									
	公 立	私 立	國 立	公 立	私 立	計									
男	18	7	67	92	0	1	1	2	30	1	6	0	7	20	151
女	15	3	53	71	0	3	41	44	32	2	5	0	7	10	164
計	33	10	120	163	0	4	42	46	62	3	11	0	14	30	315

(2) 平成15年3月卒業生・過年度生 大学・短大合格者数

國 立	大 学			短 大			合 計											
	公 立		私 立	國 立		公 立												
	現	過	計	現	過	計												
男	21	9	30	9	3	12	114	36	150	0	0	1	0	1	2	0	2	195
女	15	1	16	4	1	5	87	5	92	0	0	3	1	4	46	0	46	163
計	36	10	46	13	4	17	201	41	242	0	0	4	1	5	48	0	48	358

(3) 過去6年間の進路状況

	10年			11年			12年			13年			14年			15年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
国 公 立 大	34	13	47	19	13	32	16	18	34	22	15	37	24	22	46	25	18	43
私 立 大	80	56	136	75	50	125	65	49	114	76	44	120	62	39	101	67	53	120
短 大	4	43	47	3	47	50	2	62	64	4	39	43	1	38	39	2	44	45
専 修 各 種	15	28	43	20	35	55	22	37	59	22	36	58	23	34	57	30	33	63
公 務 員	0	1	1	0	0	0	1	3	4	3	0	3	5	0	5	1	2	3
就 職	6	8	14	4	4	8	7	7	14	4	7	11	7	7	14	6	4	10
そ の 他	19	7	26	32	13	45	15	11	26	19	17	36	40	9	49	20	10	30
合 計	158	156	314	153	162	315	128	187	315	150	158	308	162	149	311	151	164	315



主な合格先 (延べ数)

国公立大学

和歌山大(16)、筑波大、

東京外国语大、静岡大(2)、

名古屋大、三重大、滋賀大、

京都教育大、大阪外国语大、

大阪市立大(2)、神戸商科大、

etc.

私立大学

早稲田大、京都産業大(14)、

京都女子大(2)、

京都外国语大(8)、同志社大、

同志社女大(2)、佛教大(12)、

立命館大(3)、龍谷大(8)、

関西外国语大(7)、近畿大(13)、

大阪工大(4)、甲南大、

桃山学院大(14)、関西大(6)、

関西学院大(4)、甲南大、

神戸女学院大 etc.

国公立短大

和歌山県立医大看護短(4)

私立短大

京都女子短(5)、

和歌山信愛女子短(11)、

和歌山赤十字看護(3)、

和歌山県立高等看護(5)、

和歌山労災看護(5)、

和歌山市医師会看護(3)、

関西総合リハビリ(2)、

etc.

専門学校

和歌山赤十字看護(3)、

和歌山労災看護(5)、

和歌山市医師会看護(3)、

etc.

平成15年度 全国大会出場 クラブ	マンドリン部			バドミントン部			全国高校軟式野球選手権		
	・第33回全国高校ギター・マンドリンフェスティバル(大阪) 7月26日・27日			・全国高等学校総合体育大会(インターハイ) バドミントン競技の部(長崎) 7月29~8月3日			・和歌山大会: 優勝		
	・ドイツ連邦共和国大使賞 ・優秀賞			女子団体 1回戦 3-2 糸満高(沖縄) 2回戦 0-3 県岐阜卓(岐阜)			・準決勝(耐久6:2海南) 決勝(耐久7:4南部)		
放送・演劇部			女子ダブルス(東志乃・岩岡真由美) 1回戦 2-0 甲府湯田(山梨) 2回戦 0-2 青森山田(青森)			・近畿大会(京都・太陽ヶ丘球場) (天理9:6耐久)			
	・第50回NHK杯高校放送コンテスト全国大会(東京) 7月23日~25日 テレビディレクメント・ラジオドラマ・ラジオドキュメント・朗読部門出場			女子シングル(岩岡真由美) 1回戦 0-2 壱ウルスラ学院(宮城)			・和歌山大会: 優勝		
	・第27回全国高校文化祭 放送部門(福井・敦賀市) 8月11・12日 朗読の部出場 上野山琢也								

特集

異文化の中で自分を試す機会

JICA(国際協力事業団)に参加 大浦 靖生



幼い頃から自分の職業はみかん農家だ!と考え、耐久高校を卒業後、東京農業大学でフルーツについて学びました。卒業後、自身の人間的未熟さを憂い、就農前に企業で社会勉強をするかと迷っている時、ひょんなことからJICAの一事業である「青年海外協力隊」を知り、果樹の分野で応募。他国での異文化の中での自身を試すまたとないチャンスじゃないかなと思いました。

派遣国はタイ。公用語はタイ語です。耐久高校時代英語が赤点ばかりだった自分自身に果たして「トムヤムクン」しか知らないタイ語をマスターできるのか?農業経験の未熟な自分が現地で十分に指導ができるのか?出発を前に期待よりもはるかに大きな不安で

いたたまれない思いでした。日本国内で三ヶ月の語学訓練を受け、一般的なタイ語会話がなんとなく解る程度に。人間、状況的にがけつぶちに立たされるとがんばれるものだと我ながら感心しました。渡タイ後、ほどなく配属された先是、タイの最北端に位置する「チエンライ県山岳民族福祉開発センター」。山岳民族に対するいろいろな福祉サービスを行っている機関です。活動村のひとつ「ルワムジャイ村」は海拔千メートル。山村のひとつ「ルワムジャイ村」は海拔千メートル。山村のひとつの小川から引いてきた天然水。かやぶきの屋根と、竹と木でできた家。見渡す限り山。山。空気がよく澄ん

だ日は隣のミヤンマーの山々まで見渡せます。この村には十数年ほど前から多くのウメが植えられています。しかし、やせた土地のウメが植えられていました。した。しかし、やせた土地と放任栽培・天候にも恵まれず、あまりよい実はありません。

一年ほどが経ち、ようやくあだ名で呼んでもらえるようになりました。公用語をマスターできるのか?農業経験の未熟な自分が現地で十分に指導ができるのか?出発を前に期待よりもはるかに大きな不安で

いたたまれない思いでした。日本国内で三ヶ月の語学訓練を受け、一般的なタイ語会話がなんとなく解る程度に。人間、状況的にがけつぶちに立たされるとがんばれるものだと我ながら感心しました。

渡タイ後、ほどなく配属された先是、タイの最北端に位置する「チエンライ県山岳民族福祉開発センター」。山岳民族に対するいろいろな福祉サービスを行っている機関です。活動村のひとつ「ルワムジャイ村」は海拔千メートル。山村のひとつの小川から引いてきた天然水。かやぶきの屋根と、竹と木でできた家。見渡す限り山。山。空気がよく澄ん

だ日は隣のミヤンマーの山々まで見渡せます。この村には十数年ほど前から多くのウメが植えられています。しかし、やせた土地と放任栽培・天候にも恵まれず、あまりよい実はありません。

一年ほどが経ち、ようやくあだ名で呼んでもらえるようになりました。公用語をマスターできるのか?農業経験の未熟な自分が現地で十分に指導ができるのか?出発を前に期待よりもはるかに大きな不安で

「同窓会館建設」夢の実現にご理解ご協力を…!

わることができました。二年共に梅干は完売。「家を建ててやるからずっと村に住んでよ。嫁さんも探してあげるから」という誘いは少し惹かれましたが丁重に断りました。

昨年九月までの二年九ヶ月は後から思うと本当にあつという間の出来事。僕がタイの社会にどれだけ影響を与えることができたのか今もわかりませんが、タイが僕に与えてくれたものの方がはるかに大きいと思います。かけがえの無い友人、日本にいるときは経験できなかつた異文化の中での生活。山の人たちとのふれあい。それまで僕の心中にあつた外国に対する垣根は外れたように思います。現在は有田でようやくみかん作りを始めたところ。人間的にもみかん農家としてもまだまだ未熟ものです

が、近い将来、農業を通じて国際交流ができるらしいなど考えていています。



事クリア。タイ政府が進める地域振興事業「一村一品運動」にも選ばれ、村人の運動」にも選ばれ、村人の事業がタイ社会に評価されたことは本当にうれしかった。消費者の方にも材料が天然のものの百分百だから安心して食べられる。輸入ものよりも安価。と好評でした。現地の要請で任期を九ヶ月延長。梅干の加工に再び携

プロフィール
・耐久高校(普47期生)
・東京農業大学卒業 平成七年卒業
・有田市宮原町東八七一
農業(自営)

—高第31期より贈呈—



Talk Together Walk Together (共に語ろう 共に歩もう)

本校では、20数年来この考え方方に立って国際理解教育を進めてまいりました。

創立150周年を機に、第31期卒業生の皆様からこのリーフが寄贈され、玄関ロビー正面に掲げられています。

創立150周年を記念しての贈呈



(作品)

華 一しろのしらべ

西谷俊二 氏

・染織デザイナー
国際图案作家連合会理事
京都染織デザイナー協会会員
・西谷俊二画室
(京都市西京区川島桜園町67)
TEL・FAX 075-381-8479

・湯浅町山田出身 (高5期)

この作品は校長室前の廊下に
展示されている

少年時代、国鉄の駅長をして
いた父の転勤で和歌山県
の御坊に住んでいた。一八五
四年、この地方が安政南海地
震による津波に襲われた時
のことを取り上げた伊藤和
明氏の「防災教育『稻むらの
火』」を役立てて」(五月十九
日付)を読んだ。:

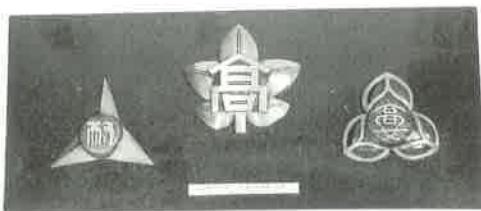
(浜口)儀兵衛さんは幕末
に、私が入学した県立耐久中
学校(耐久高校)の前身、
「けいこ場」を設立した一人
で、後に「耐久社」となった
という。

当時、学校は海岸沿いにあり、年一回行われた津波の避難訓練で、全校生徒が約一キロ離れた神社の境内までマラソンをした記憶がある。震災体験の風化が叫ばれる戦後ある年の夏、母校を訪ねた折、被災後に築かれた防潮堤「広村堤防」にも行つた。

今、「稻むらの火」の物語は後世に伝えていきたいものである。

として、浜口儀兵衛についてのその感動的な物語を詳しく紹介し、「稻むらの火」は防災教育の不朽の名作だった」と述べて、「二十年前のある子どもたちの死を無駄にしないよう、この物語を、末永く後世に伝えていきたいものである。」

川口氏の投稿はこれに触発されてなされたものである。

—高校第4期同窓生—
卒業50周年を記念して校章レリーフを贈る!

昭和27年度卒の高校4期同窓会は、自分達の卒業30周年には体育館に「校歌額」を、亦、40周年では改装されたばかりの武道館に「木彫掲額」を贈呈し、母校への思いを表現してきた。

10年毎のこの企画も今回は卒業50周年に加え、創立150周年と重なり、この大きな節目にふさわしいものとして、古い伝統と誇りを校章に託し、旧制耐久中学校と有田高等女学校をも並列した校章ブロンズレリーフを作成したものである。

150周年での募金活動に加え、この趣意に賛同、後輩へのハートを結集して下さった多くの4期生諸兄姉に最大の敬意を表したい。

作品は黒御影石にブロンズの校章(横70cm、高さ30cm)二科会会員 橋本和明氏の作

耐久高校4期同窓会

卒業50周年記念同窓会

幹事一同 (代表 池田幸世)

◆防災教育に「稻むらの火」を役立てて
平成十五年六月十日の『朝日新聞』に次のような投稿記事が掲載された。

「今から二十年前の八十三年五月二十六日、日本海中部地震が発生し、大津波によって、青森県や秋田県の沿岸で百人の死者が出た。なかでも涙を誘つたのは、男鹿半島の海岸に遠足に来ていた小学生三人が、幼い命を失つたことである。」

このとき、「あの教材がもし教科書に残っていたなら、この悲劇は防げたかもしれないのに」という声が聞かれた。その教材とは、戦時中の小学五年生の国語の教科書に載っていた『稻むらの火』で、当時の子どもたちの心を強くとらえた作品であつた。」

そして、浜口儀兵衛についてのその感動的な物語を詳しく紹介し、「稻むらの火」は防災教育の不朽の名作だった」と述べて、「二十年前のある子どもたちの死を無駄にしないよう、この物語を、末永く後世に伝えていきたいものである。」



耐久中学校懐古記録

我々が往時を偲ぶ時、自己の記憶・友との語らい・記録等に頼ることが多い。
しかし、百聞一見にしかずの諺の通り、映像に優る物はない。
今回は耐久中学校時代に関連する写真を紹介し、想いでのよすがとしたい。
一部、高校時代に跨ぐる物もあるのでお楽しみに。



見送りの人達の中に、菅原先生を中心には、棚野九爾明・原照・大畠重信・安野谷英夫・森原三郎・清水信一・富上喜作・和田堅一・山名景造・大橋紀男・船山欣一・藪野清次・根来医院女医・上野寛・齋藤勇吉各氏の顔が見える。



昭和十年代耐久中学校相撲部長として活躍された菅原先生が、戦後久方ぶりに大分県から来町され旧交を温められ、教え子達に見送られ湯浅駅を出発する風景。

な？）
當時校長は佐藤安一この年
徳島県へ転任。その他、島原・
野田・藤田・南条・湧田・中
井・古谷・九鬼・武内・齋藤諸
先生（あだ名の方がわかるか

昭和十七年卒業（35期生）の
卒業写真と思われる。背景の武
道館・相撲場・体育館も懐かし
い。第二次世界大戦に突入した
ばかり。最前列に注目。校長・
教頭の間に軍事教官が軍刀片
手に位置して時代を偲ばせる。



③ 広尚志会のお別れ写真
南海大地震・津波の翌春校庭
の片隅（運動場南西隅）で広村
久中学校卒業、以下は新制中学
へという節目の写真。最前列右
端に現代日本の地震学の泰斗
である津村建四郎の姿が見え
る。



※参考に
？ 齋藤 島原 林 梶原 岩崎 高居
児玉 加藤 青江 南条 山県 野辺 竹倉
？ 湧田 佐藤 中井 野田 野中 井倉
な？



④ 昭和十年代の先生方
写真の中の先生方はすでに
鬼籍に入られ、記憶も薄らいだ
が、それぞれ個性豊かな先生方
であつた。中学30期以後の方な
ら薰陶を受けたのではなかろ
うか。

(5) 自然の中での部活動
運動場にはクローバーがトラックを画し、周囲を緑したたる松原に囲まれた校庭が諸活動の舞台であった。放課後それらにこだまして若人の息吹が満ち溢れていた。写真は美術部の面々の一休み。



同窓会活動報告

- 2月28日(金) 卒業生(クラス幹事)との懇話会…会長・事務局
3月3日(月) 卒業式(全日制・定時制の2回)…会長
12日(水) 役員会(於学校)
4月4日(金) 教員異動、送別会(於横浜)…会長
5月24日(土) 関東耐久会第2回総会(アルカディア市ヶ谷)…校長・会長・上野
6月5日(木) 関西耐久会、三役会(日本橋 藤久)…会長
25日(木) 同窓会役員会と会報編集会(学校)
7月6日(日) 県高校同窓会連絡協議会「グランヴィア和歌山」…校長・会長・白井
◆会報委員会では発行迄数回の会合を重ねております。

同窓会文庫だより

- ・「中国史論集」 楠山修作著(高4期)
・「脳梗塞よ ありがとう! 糖尿病よ さようなら!」 ありだ未完著(本名 炎田敏次一高15期)
「同窓文庫」充実の為、OB・G皆様の著書をと呼びかけてます。ご連絡をお待ちしております。

⑥ 番外編

時・昭和三十三年四月
場所・東京後楽園球場

試合・巨人×阪神
主役・梅本正之投手 耐久高7期生
入団三年目 当日登板なし
観客・現在に比べれば静かなもの
目的・長島茂雄新入団
撮影・齋藤春太郎

試合前ネット越しにあいさつ
越にあいさつ



「喜寿同窓会を目指して」



〔旧中39期生幹事〕
「喜寿同窓会」を迎える。

この機会に度々お招きした恩師達も、九鬼先生の九十六才をはじめ、武内・樋口両先生の八十八才、齋藤先生八十四才と皆さんご長命であられたと聞いている。

我々も「残日」を大切に生きて、

町「ほたるの湯」で開かれ、二十三名が参加したが、人数的にはいさか寂しい集まりとなつた。しかし、我々も再来年には「喜寿」を迎える年齢となつて、同期生もすでに三分の一が故人となつた。身体の不調を抱える人も年毎に多くなつてきている状態の中では、これもやむを得ないことだろう。

最近、藤沢周平の「たそがれ清兵衛」が映画化されて話題になつたが、同じ作者の「三屋清左衛門」は「日残リテ」と「残日録」を書いた。我々はすでに「日残ルモ昏ルハ遠カラズ」とでもいうような時期になつてきていいが、行政・社会福祉の方面や短歌・俳句等の世界で活躍する同期生も多い。

江戸銀
江川和志(高19期)
和歌山市紀三井寺840-39-106(メゾン山本)
TEL(073)448-2501 FAX(073)448-2502

カラープリント・APS・スピード仕上・各種記念写真・出張撮影

江戸銀
江川和志(高19期)
和歌山市紀三井寺840-39-106(メゾン山本)
TEL(073)448-2501 FAX(073)448-2502

ユピア フォトショウフルタナカ

湯浅町湯浅1852(ユピア1F) TEL(FAX) 63-2170

鮮魚・仕出し・寿し 新長 藤白順造(高4期) 藤白達也(高36期) 有田郡湯浅町西南道 電話 0737-62-3267番	設計・施工 造園園化工事一式 造園 有田郡広川町広1548 (事) ☎ 64-0215 FAX ☎ 62-4546 (自宅) ☎ 67-2635	Total Printing System ICHIIYO 株式会社一葉	一 有田の地酒 一 くまのみち醸造元 高垣酒造場 高垣淳一(高35期) 金居町小川 TEL.0737-34-2109代 カラープリント・APS・スピード仕上・各種記念写真・出張撮影
--	---	---	--

同窓会報購読希望の方は協力金として1,000円同封の上、お申込下さい。(事務局)



万葉の地 和歌の浦に集う

五月晴れの二〇〇三年五月
二十三日～二十四日の一泊二
日で、有田高女27期生の同窓
会が、万葉に歌われます和歌
の浦におきまして、五十八名
の出席のもと盛大に開催致し
ました。

まず先に、記念写真をホテル前にて撮り、皆さんが各お部屋でくつろぐ事になりまし
た。

私達、戦後間もない昭和二十三年に卒業して、早や五年の歳月が過ぎ、亡くなられた同窓生も多い中、出席出来る事の喜びを深く感じた日でございました。

当日、竹中和代先生と遠くから飯田千代先生がご出席下さいました事を心よりお礼申し上げます。

いよいよ皆さんお楽しみの懇親会の始まりです。キー ボードの演奏で校歌を合唱致しました。亡き友への黙祷、そして恩師の乾杯音頭のあと、踊りやカラオケコーラスやマジック等、本当に楽しい三時間でした。

夜は女学生に戻り、懐かしい友と語り合つた様子でした。



朝食後、皆さん帰られる様子もなく、ホテルにお願いしてお昼もいたゞく事になりました。また、二年に一度この同窓会を開く事になつていましたが、来年は大阪でという事に決まりまして、早くも大阪での再会を楽しみながら、漸く二時半ホテルを後にして、皆さんとお別れ致しました。

27期生の皆さん、本当にご協力ありがとうございました。

皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

盛り上がつたよ!!

影が浮かび、感慨ひとしおでした。

有田高女29期生は最終の期です。ふり返りますと、教育改革により有田高女二年終了で地元の新制中学へそれぞれ別れました。

校歌斎唱は、乙女時代に返り
声高だかと歌いながら当時の校
門、ヒマラヤ杉、木造校舎、中
庭、四つ葉のクローバーなど次
から次へなつかしさいいっぱい

歳月を経て松本先生のお骨折りで有田高女同窓会へ入れていただき、先輩と校歌を一緒に歌うことが出来た感激を今尚忘れられません。

平成十五年五月二十五日橋屋に於いて29期同窓会を開催したところ、四十一名の出席者は、至極元氣でうれしい限りでした。司会者の進行で始まり物故者への黙祷を捧げ、在りし日の面

を打つのも忙しく、食欲旺盛の皆様、若さの秘訣は、この辺りにあるかと想像いたしました。

座の盛り上がりは最高潮手拍子よろしく演歌あり詩舞日舞民謡あり、かくし芸を披露してくれました。中でも河内男節を唄つてくれる方、踊つてくれる方が、全員に呼びかけて下さり総立ちになり、踊りの手ほどきを受けながらリズムにのつて体を動かし浮きうきムード。アンコールで一層若返りを感じる一時を喜びあいました。

丘の桜の歌で会を締めくくり
お開きに……

根本和子記

●クエ・カニ・活魚料理他
●アルカリ性単純温泉◆乗合船・仕立て船
旅館 千代の家
大原 裕(高14期)
(湯浅IC・吉備ICより10分)
(JR湯郷駅より徒歩3分)
TEL 0737-63-5100

有田郡金屋町金屋722の1
 ヒラオ薬局
平尾 泰宏(高1719)
TEL.0737-32-2215

YOMIURI
I.C.
讀壳 I.C. 湯浅
池辺正晴(高14期)
湯浅町港区2894
TEL 63-2696 FAX 63-2514

さかい歯科
酒井 靖彦(高24期)
・診療時間 AM 9:00~12:00
PM 2:00~ 6:30
・休診日 毎月1日祝と土曜午後 ◉回数
湯浅町962 Tel 64-1714

和洋酒・焙煎コーヒー豆
リカーショップ
タナベ
田辺友子(高7期)
3月刊「花と緑」編集長
03-5705-0115

「同窓会館建設」基金に、ご理解とご協力をお願いします。

絆 吹奏楽部の巻



創立150周年 濱口梧陵像除幕式にて

エア等々、大活躍の一年であつたように思われます。特に昨年は耐久創立百五十周年にあたり、創立者、濱口梧陵像の除幕式で、旧耐久中学校、有田高等女学校、耐久高校の、それぞれの校歌を演奏したこと、部員ともども、一生の思い出となる出来事であり深く心に刻まれています。この他にも硬式野球部の記念試合で郡山高校との対戦の際、応援歌を演奏するなど、思い出深い活動となりました。

今春二十五名の一年生新入部員を迎える、総勢六十名の大所帯となり、過去最大規模?のクラブに成長しました。全員初心者であり、演奏練習など日々真剣に(けつこう楽しみながら)活動しています。昨年は八月の潮国体の時に購入したものであります。耐久の歴史とともに、歴代部員の汗?(だ液)と手垢の染み付いたものであります。同窓会の機関誌発行は県下でも数校を数えるのみと聞きおよんでもあります。同窓の動向を、そして今後の学校の様子等々、

樂器部門で銀賞となるなど惜しくも金賞を逃がしてしまいましたが全部員一丸となつて取り組む事ができました。この他にも硬式野球部の和歌山大会の応援や、ふれあいコンサート、高文連吹奏樂祭、和歌山県吹奏樂祭への参加、産業教育フ

エア等々、大活躍の一年であつたように思われます。特に昨年は耐久創立百五十周年にあたり、創立者、濱口梧陵像の除幕式で、旧耐久中学校、有田高等女学校、耐久高校の、それぞれの校歌を演奏したこと、部員ともども、一生の思い出となる出来事であり深く心に刻まれています。この他にも硬式野球部の記念試合で郡山高校との対戦の際、応援歌を演奏するなど、思い出深い活動となりました。

今春二十五名の一年生新入部員を迎える、総勢六十名の大所帯となり、過去最大規模?のクラブに成長しました。全員初心者であり、演奏練習など日々真剣に(けつこう楽しみながら)活動しています。昨年は八月の潮国体の時に購入したものであります。耐久の歴史とともに、歴代部員の汗?(だ液)と手垢の染み付いたものであります。同窓会の機関誌発行は県下でも数校を数えるのみと聞きおよんでもあります。同窓の動向を、そして今後の学校の様子等々、

顧問 生駒亮司

Echo!

・硬式野球部は今夏も二年連続のシード校。創部百周年も後一年。行きたいネ甲子園!

(夢みる耐球生)

◆会報へのご支援・ご献金に感謝し、左記にご披露させて頂きます。

・同窓会の機関誌発行は県下でも数校を数えるのみと聞きおよんでもあります。同窓の動向を、そして今後の学校の様子等々、

・有田高女21期会様
・有田高女25期会様
・旧耐久中三四会様
・高校7期会様
・有田高女29期会様
・高校5期生(匿名・男)
・高校4期生
・池田幸世様
・藤白順造様
・上野山和夫様
・橋本佳巳様
・桑原道博様
・橋本貞子様
・樺永純一様
・山野冬喜様



同窓
歌壇

・土を練る ひたすら雨を聞きながら
・白球にかける健児の 夏が来た

下野香代(高20期)

・職退きて 匂う桜に気付けりと
・言いたる夫の 来し日日々思う

南信州同窓の旅

小林幸代(高女26期)

・ローブウェイに運ばれ雪の千疊敷

中央アルバス一望に美し

・三十八名 アルバスを背に並びけり

昨夜降りしどう 雪踏みしめて

・下野香代(高20期)
・土を練る ひたすら雨を聞きながら
・白球にかける健児の 夏が来た

『編集後記』

昨年は、十一月初旬の百五十周年記念祭典を中心にして、同窓会としても、高揚の時期がありました。今は、大事業を終えた沈静の中で、更に新たな発展を期しての基礎作りに取り組んでいます。

本会報二ページで案内いたしましたように、九月二十七日には、隔年に一度の定期総会が開催されます。百五十周年を超えて、新たな一步を踏み出すための重要な契機としての総会となることと思います。お一人でも多くの方々のご参加をお願いする次第です。今号の特集のページには、これから時代を担つて立つ若い方の原稿を頂戴することできました。今後も年齢や性別などにもバラエティーをもたせて多方面にわたって記事をいただき、斬新な誌面づくりをしたいと思っています。

俳壇・歌壇の欄を始め、随想などもどしどし投稿をお願いいたします。

いつものことながら、この会報発刊に当つて、陰に陽にご支援いただいた方々に、そしてご愛読下さる皆様に、編集員一同心から感謝申し上げます。

いつものことながら、この会報発刊に当つて、陰に陽にご支援いただいた方々に、そしてご愛読下さる皆様に、編集員一同心から感謝申し上げます。

※お詫びと訂正

十二号二ページ左下の欄
中井常茂→中井常藏